iriver



T7

取扱説明書

ユーザー登録でさらに安心
http://www.iriver.co.jp/support/

取扱説明書ダウンロード、ファームウェアアップグレード情報、修理お問合せがスムーズに！

商標と著作権

はじめに

この度は iriver T7 をお買い上げいただきありがとうございます。T7 の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」「取扱説明書」をよくお読みください。

T7 は iriver plus 3 と共にお使いください。

iriver plus 3 を通してデジタル音楽や CD の楽曲をパソコンに取り込めます。iriver plus 3 を使用すると、効率良く音楽を取り込んで管理できます。デジタル音楽や CD の曲をアーティスト別、アルバム別、ジャンル別などの多様な方法で整理することができ、お好みのプレイリストを作成して T7 に転送できます。

注意

・本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
・本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
・本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
・記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警 告





●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。



⚠ 警　告

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・故障・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。


水濡れ禁止

●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


電源プラグをコンセントから抜け

●この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



●この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


分解禁止

⚠ 注　意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。

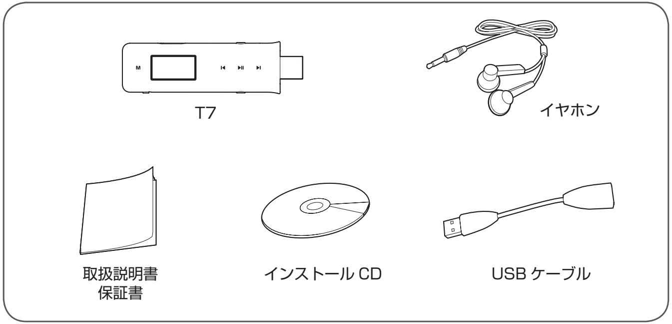
●イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。



●再生する前には、音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
●自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
●大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。
●カバンやポケットに入れて、持ち運ぶ際、ディスプレイや外装が破損する場合がございます。ご注意ください。

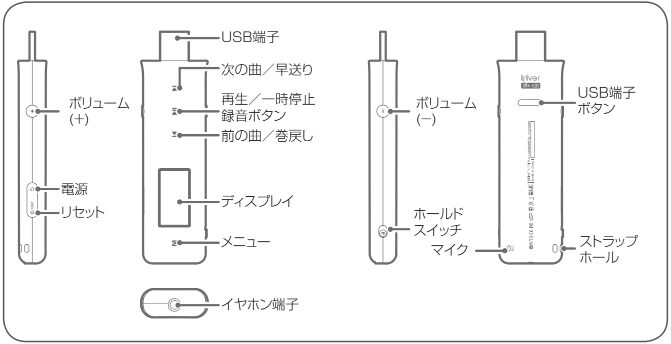
付属品の確認

パッケージの内容は予告なく変更される場合があり、図とは異なる場合があります。



・8cm に非対応の CD-ROM ドライブでは使用しないでください。収録されているアプリケーションは、iriver の Web サイトからユーザー登録後、ダウンロードが可能です。

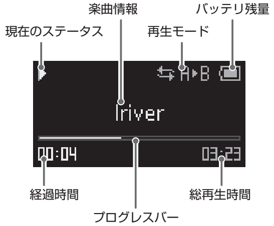
各部の名称



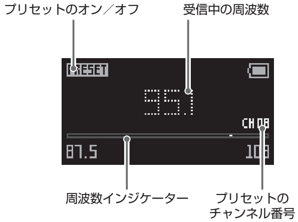
・USB 端子の金属部を直接手で触れないようご注意ください。接触不良の原因となる場合がございます。

画面に表示される情報

音楽の再生中



FM放送の受信中



ボイス録音中



パソコンの必要要件

T7 は以下の条件を満たすパソコンと接続してお使いください。

■ iriver plus 3、Windows Media Player を使用するための最低要件

Windows® 2000/XP

- Intel® Pentium® II 233MHz 以上のプロセッサ速度
- 64MB 以上のメモリ
- 30MB 以上のハードディスク空き容量
- スピーカーと 16 ビットをサポートするサウンドカード
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
- SVGA 以上の解像度を持つモニター（解像度 800 × 600 以上）

Windows® Vista

＊ Windows® Vista は、32 ビットのみをサポートし、64 ビットはサポートしません

- Intel® Pentium® Ⅲ 800MHz 以上のプロセッサ速度
- 512MB 以上のメモリ
- 20GB 以上のハードディスク空き容量
- スピーカーと 16 ビットをサポートするサウンドカード
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
- SVGA 以上の解像度を持つモニター（解像度 800 × 600 以上）

T7 で音楽を聴くまでのステップ

① T7 の電源をオンにする

⏻ ボタンを 2 秒以上長押しし、電源をオンにします。

②パソコンに iriver plus 3 をインストールする

付属の CD-ROM をパソコンにセットして、iriver plus 3 をインストールします。

＊インストール方法はホームページからご確認いただけます。

＊表示の順に従い、インストールをしてください。

③パソコンに接続し、ファイルを T7 に転送する

付属の USB ケーブルで T7 をパソコンに接続します。「充電／データ転送」を選択すると、画面に「USB で接続中」と表示されます。

④取り外す

タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を選択します。（→ P.15）

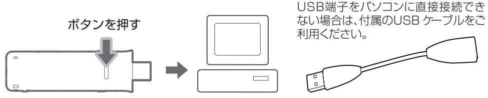
＊コネクタを T7 から取り外すときには、静かに引き抜いてください。

＊「使用中です．…」のメッセージが表示されている間は、USB ケーブルを取り外さないでください。T7 本体や保存されたデータが破損するおそれがあります。

充電する／パソコンとの接続・取り外し

T7 とパソコンを接続する

❶T7 の電源をオンにし、付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。



❷充電 / データ転送を選択します。

❸パソコン側と正しく接続されると画面に「USB で接続中」と表示されます。

接続中は下記の３つの接続方法を選ぶことができます。

充電 & データ転送	充電をしながら T7 へファイル転送をします。T7 の操作はできません
充電&再生	充電しながら T7 の操作が同時にできます。データ転送はできません
充電専用	充電のみ

充電について

充電の状況は、画面の表示で知ることができます。

充電中	充電完了
バッテリアイコンが点滅	バッテリアイコンの点滅が止まる

充電に関する注意事項

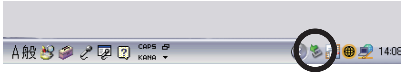
＊内蔵バッテリは完全に充電するには約 3 時間かかります。
＊付属の USB ケーブル以外のケーブルは使用しないでください。誤動作の原因となります。
＊ USB ケーブルは、パソコン本体の USB ポートに直接接続してください。PC カードにセットする USB アダプタや、パソコンから電源供給される USB ハブなどの周辺機器に接続した場合、電力不足により充電やパソコンとの接続ができないことがあります。
＊パソコンがスタンバイモードに移行すると、T7 の充電が行われないことがあります。

■省エネモード　電力消費を軽減し、バッテリを長持ちさせる機能です（→ P.39）
自動電源オフ：一定時間操作しないでいると、自動的に電源が切れます。
スリープタイマー：設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。
バックライト：一定時間操作しないでいると、自動的に画面のバックライトが消えます。（→ P.38）

充電する／パソコンとの接続・取り外し

T7 をパソコンから取り外す

❶パソコンのタスクバーのアイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取り外し」を使用して T7 を取り外します。



❷「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します」をクリックします。

❸「ハードウェアの取り外し」の×をクリックします。

＊ タスクバー上のアイコンは、オペレーティングシステムによっては表示されない場合があります。隠れているアイコンを表示するには、「アイコンを表示」をクリックします。
＊ Windows Explorer や Windows Media Player などのアプリケーションが実行されている間は、「ハードウェアの安全な取り外し」が実行できない場合があります。すべてのアプリケーションを終了してから「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。
＊「ハードウェアの安全な取り外し」が正しく実行できない場合は、数分後に再実行してください。「ハードウエアの安全な取り外し」を使用しないで取り外した場合は、メモリの情報が消失されることがあります。

ボタン操作

電源のオン／オフ

本体の［ ⏻ ］電源ボタンを 2 秒以上長押しします。

＊電源をオフにするときも、［ ⏻ ］電源ボタンを 2 秒以上押します。

ボタン操作について

メニューの移動は［ ⏮/⏭ ］ボタンを押し、［ ⏯ ］ボタンで決定します。

■ボタンの長押し

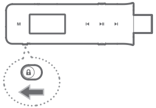
「ボタンの長押し」（2 秒以上ボタンを押し続けること）によって、便利な機能を呼び出すことができます。

M 長押し：メインメニューをすぐに呼び出すことができます。

ホールド機能／リセット機能

■ホールド機能

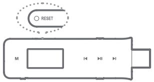
ホールドボタンを左にスライドすると全ボタンがロックされ、誤操作を防ぎます。



■リセット機能

細いクリップの先などでリセットボタンを押してください。T7 を強制的に再起動します。T7 が正常に動かなくなった場合にのみ使用してください。

＊リセットを実行しても日付／時刻の設定や内部メモリのデータは削除されません。



リムーバブルディスクとして使用する（ドラッグ&ドロップ）

T7 はマイ コンピュータにリムーバブルディスクとして表示される「T7」の「データフォルダ」に各種データファイルの保存や削除、フォルダの作成などができます（この方法で転送した音楽ファイルを楽しむことも可能です）。容量の大きいデータファイルを持ち運ぶときなどにご利用ください。

ファイル・保存のコピー／削除

❶T7 とパソコンを接続します。
❷T7 がマイコンピュータにリムーバブルディスクとして表示されます。
❸任意のフォルダにファイルやフォルダをドラッグ& ドロップでコピーします。

ミュージック	T7→Musicフォルダ

削除する場合は、削除したいファイルを選択し、右クリックで表示される「削除」を選択します。

＊ T7 から削除したファイルはごみ箱に残らず、すぐに消去されます。
＊ フォルダ・ファイル認識数は、フォルダ100・ファイル1000となります。
＊ フォルダ階層は、6階層までとなります。

録音したファイルを編集する

■録音した音声および FM 録音ファイルのファイル名を変更する

❶T7 をパソコンに接続し、マイコンピュータに表示される T7 の「Recordings」→［Voice］［FM Radio］フォルダを表示します。
❷名前を変更したいファイルを選択し、右クリックから「名前の変更」で変更します。

＊ 接続タイプが MTP の場合（→ P.39）は名前の変更はできません。ファイルをパソコンにコピーしてからファイル名を変更してください。
＊ 音声ファイルを別のフォルダ（例：［Music］フォルダ）に移動することもできます。

録音したファイルをパソコンに保存する

❶T7 をパソコンに接続し、マイ コンピュータから T7 の「Recordings」→［Voice］［FM Radio］フォルダを表示します。
❷保存したい録音ファイルを、パソコン上の好きな場所にドラッグします。ファイルがパソコンに保存されます。

＊ 元のファイルは T7 に残りますので、不要であれば削除してください。

音楽を聴く

準備 音楽ファイル＊[1] は iriver plus3 を使用して、パソコンから転送します。（→ P.40）

＊可逆圧縮 WMA には対応しておりません。

音楽を再生する

ボタン操作 メインメニュー [MUSIC] → ▶II

❶メインメニューから［MUSIC］を選択し、［ ▶II ］を押します。

❷［MUSIC］モードのスタンバイ画面が表示されたら、［ ▶II ］を押します。

直前に聴いていた曲から再生されます。再生する曲を探すときは、次の手順に進みます。

❸［ ▶II ］を押して一時停止し、［ M ］ボタンを押して、［音楽］を選択してください。楽曲リスト画面が表示されます。

［ I◀ / ▶I / ▶II / ⊕ / ⊖ ］で再生したい楽曲を選び、［ ▶II ］を押します。

I◀	上の階層に移動、元の画面に戻る
▶I / ▶II	下の階層に移動
⊕ / ⊖	フォルダの中で上下に移動

■再生中の基本操作

⊕ / ⊖	ボリュームの調整
I◀ / ▶I	前の曲／次の曲を再生
I◀ / ▶I を長押し	再生中の曲を巻戻し／早送り
▶II	一時停止、再生

A から B までを繰り返し再生する

❶音楽再生中に［ ▶II ］を長押しして、サブメニューを表示します。「区間リピート」を選択し［ ▶II ］を押して開始点（A）を指定します。

❷もう一度［ ▶II ］を押して、終点（B）を指定します。（区間リピート繰り返し設定について→ P.24）

＊画面に「A ▶ B」が表示され、A-B 区間の再生が繰り返し再生されます。

＊リピートを解除するときは、▶II を押します。

サブメニュー

ボタン操作 音楽再生中に ▶II 長押し

■再生画面でのサブメニュー

＊再生モード

		画面表示
通常再生	選択した曲を 1 度だけ再生	（なし）
リピート	全ての曲を繰り返し再生	
1 曲リピート	1 曲を繰り返し再生	
シャッフル	全ての曲をランダムな順番で再生	
シャッフル＋リピート	全ての曲をランダムな順番で繰り返し再生	

＊ EQ 選択

再生される音質を設定できます。設定した EQ は画面に表示されます。

Normal	癖のない標準的な設定
Rock	ロックに適した、ボーカルを強調する
Pop	やや重低音を増強しリズムパートを強調
Classic	クラシック音楽に適した設定
Soft	柔らかな高音
Jazz	ピアノの音を美しく、透明感ある音質

DBB	低音を強調（Dynamic Bass Boost）
カスタム EQ	「サウンド設定」で変更したカスタム EQ を使用する
SRS WOW HD	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード ＊ SRS を選択した場合のエフェクトの種類を、［サウンド設定］の［SRS 設定］で設定します。

＊サウンド設定―カスタム EQ

周波数帯ごとにレベルを調整し、独自の音響効果を設定します。

＊［EQ 選択］で［カスタム EQ］を指定して利用します。

I◀ / ▶I：周波数帯の選択

⊕ / ⊖：レベルの増減（－ 15dB ～ 15dB まで、2dB 刻みで設定できます）

＊サウンド設定―SRS WOW HD

サウンドの立体感を強調する SRS WOW の効果を、5 種類の項目で設定できます。

SRS	サウンドの立体感
TruBass	低音強調の値
Focus	サウンドの鮮明度
WOW	SRS、TruBass、Focus の 3 つの技術を融合した設定
Definition	広域の音を補正する

＊［EQ 選択］で［SRS WOW］を指定して利用します。

＊フェードイン

小さい音量で再生を開始し、徐々に音量が大きくするように設定できます。再生したときに突然の大音量を防ぐことができます。

＊繰り返し回数（A-B 区間リピート）

A-B区間リピートで設定した区間を何回再生するか設定します。[1 ～ 10回]

＊繰り返し間隔（A-B 区間リピート）

A-B 区間リピートで設定した区間を連続再生するときの次の再生までの間隔を設定します。[1 ～ 7 秒]

＊検索速度

[2X（2 倍速）/4X（4 倍速）/8X（8 倍速）/16X（16 速）/32X（32 倍速）]

＊歌詞表示

歌詞の表示／非表示を選択します。

＊歌詞データが埋め込まれている MP3 ファイルのみ

＊自分の評価を設定

表示しているタイトルの評価を、★の数（★～★★★★★）で設定します。

＊ブックマーク登録

再生中の曲の任意の位置をブックマークに登録します。（→再生するには「ブックマークリスト」から再生する）

＊ファイル情報

選択した曲の情報を表示します。

FM 放送を聴く

準備 受信する放送局をあらかじめ登録（プリセット）しておくことができます。（→ P.28）

＊ FM 放送を受信するには、放送局をあらかじめ登録しておき、その中から選局する方法（プリセットモード）と、周波数を手動で合わせて選局する方法があります。
＊ 日本国内で FM 放送を受信するには、サブメニューの「FM 地域設定」で「日本」を選択します。（→ P.30）

FM 放送を受信する

ボタン操作 メインメニュー [FM RADIO] → ▶II

＊ T7 はイヤホンコードをアンテナとして使用します。受信状態を良くするためにイヤホンコードをなるべく長く伸ばしてお聴きください。

■手動での選局

❶［ ▶II ］を押して、プリセットモードを解除します。

プリセットモード	あらかじめ登録した放送局から選ぶ（画面左上の「Preset」が点灯）
プリセット解除	手動で周波数を合わせる（画面左上の「Preset」が消灯）

❷［ I◀ / ▶I ］を押して、放送局の周波数に合わせます。

＊［ I◀ / ▶I ］を短く押して放すと、周波数を 0.1MHz ずつ変更します。
［ I◀ / ▶I ］を長押しすると、周波数の変更速度が速くなります。

■プリセットモードでの選局

❶［ ▶II ］を押して、プリセットモードを選択します。

❷［ I◀ / ▶I ］を押して、プリセットした放送局の中から選びます。

＊［ I◀ / ▶I ］を押すごとに、プリセットした放送局を切り替えます。

■受信中の基本操作

⊕ / ⊖	ボリュームの調整
▶II	プリセットのオン／オフの切り替え
プリセットオンのとき I◀ / ▶I	プリセットした放送局を移動
プリセットオフのとき I◀ / ▶I	周波数を手動で移動

よく聴く放送局を登録する（プリセット）

プリセットには最大 20 局まで登録できます。

■自動でプリセットを登録する（オートプリセット）

ボタン操作 FM 放送受信中［ ▶II ］長押し、［オートプリセット］

FM 放送の全周波数を検索して、受信できた放送を順次プリセットに登録します。

❶ FM 放送の受信中に、［ ▶II ］を長押ししてサブメニューを表示します。

❷ サブメニューの［オートプリセット］を選択して［ ▶II ］を押します。
オートプリセットが開始されます。
＊オートプリセット中に［ ▶II ］を押すと中断します。

❸ オートプリセットが終了すると、CH01 画面が表示されます。

■手動でプリセットを登録する

ボタン操作 FM 放送受信中［ ▶II ］長押し、［プリセット登録］

❶ プリセットモードになっている場合には、［ ▶II ］を押して解除します。
＊プリセットモードを解除すると、「Preset」の表示が消灯します。

❷ 登録したい放送局を受信してから、［ ▶II ］を長押ししてサブメニューを表示します。

❸ サブメニューの［プリセット登録］を選択して［ ▶II ］を押します。

❹ 表示されるプリセットチャンネル一覧から、［ ⊕ / ⊖ ］で登録したいチャンネルを選択し、［ ▶II ］を押します。

❺ 選択したプリセットチャンネルに、受信中の放送局が登録されます。

> **海外で FM 放送を受信するときは**
> FM 放送の周波数は、地域によって異なります。サブメニューの［FM 地域設定］で、T7 を利用する地域に合わせた周波数の設定をすることができます。

FM 放送を録音する

ボタン操作 FM 放送受信中 ▶II 長押し、［録音］

準備 イヤホンを本体に接続する

❶ FM 放送の受信中に、［ ▶II ］を長押ししてサブメニューを表示します。

❷ サブメニューの［録音］を選択して［ ▶II ］を押して録音を開始します。
＊録音を開始すると、録音ファイルが自動的に作成されます。
内部メモリに保存した場合は、TUNERYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。（→ P.19）

❹ 録音中に［ ▶II ］を押すと、一時停止します。［ I◀ ］で録音を終了します。
＊録音中は音量の調整ができません。
＊メモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。
＊ FM 放送受信中［ ▶II ］長押し→［録音品質］で、録音時の音質を設定できます。（→ P.30）

サブメニュー

ボタン操作 FM 放送受信中 ▶II 長押し

＊**録音**（→ P.29「FM 放送を録音する」）

＊ FM 録音品質

FM 放送の録音時の音質を設定します。　＊ FM 録音はステレオ録音です。

設定	ビットレート	1 分あたりのデータ量
低	64Kbps	約 500KB
中	96Kbps	約 750KB
高	128Kbps	約 1MB

＊**プリセット削除**（→ P.28「手動でプリセットを登録する」）

＊**オートプリセット**（→ P.28 ～「自動でプリセットを登録する」）

＊プリセットリスト

保存されているプリセットチャンネルのリストを表示します。

＊ FM 地域設定

韓国／日本／ヨーロッパ／アメリカを切り替えます。

録音した FM 放送の再生／削除

ボタン操作 メインメニュー [BROWSER] → [▶II]

❶メインメニューの［BROWSER］を選択して［ ▶II ］を押します。
❷「Recordings」→「FM Radio」選択して［ ▶II ］を押します。
❸［ ⊕ / ⊖ ］ボタンでファイルを選んで［ ▶II ］を押すと、再生を開始します。
＊録音ファイル再生中のサブメニューをご利用いただけます（→ P.22）

■録音した FM 放送を削除する

❶メインメニューの［BROWSER］を選択して［ ▶II ］を押します。
❷「Recordings」→「FM Radio」選択して［ ▶II ］を押します。
❸リストから削除したい録音ファイルを［ ⊕ / ⊖ ］ボタンで選択して［ ▶II ］を長押しします。
❹確認のメッセージが表示されたら「はい」を選択し［ ▶II ］を押します。

録音したファイルをパソコンに保存して、ファイル名を変更して管理できます（→ P.19）

録音する

内蔵マイクで音声を録音する

ボタン操作 メインメニュー [RECORDING] → [▶II]

❶メインメニューから［RECORDING］を選択し、[▶II ］を押します。
❷録音待機中画面が表示されたら [▶II ］を押して録音を開始します。

＊録音中に［ ▶II ］を押すと一時停止／録音再開できます。
＊内蔵マイクから録音した音声は、モノラルになります。
＊録音中は音量の調整ができません。
＊録音待機中に［ ▶II ］を長押しし、サブメニューの［録音品質］で、録音時の音質を設定できます。（→P.35）
＊録音したファイル名は、VOICEYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。

サブメニュー

ボタン操作 録音スタンバイ中に［ ▶II ］長押し

■録音スタンバイ状態のときのサブメニュー

＊録音品質

録音時の音質を設定します。

設定	ビットレート
低	64Kbps
中	96Kbps
高	128Kbps

録音できない場合

空き容量が不足している、バッテリが不足している場合は録音が開始されません。

録音した音声の再生／削除

ボタン操作 メインメニュー [BROWSER] → [▶II]

❶メインメニューの［BROWSER］を選択して［ ▶II ］を押します。
❷「Recordings」→「Voice」を選択して［ ▶II ］を押します。
❸［ ⊕ / ⊖ ］ファイルを選んで［ ▶II ］を押すと、再生を開始します。
＊録音ファイル再生中のサブメニューをご利用いただけます（→ P.22）

■録音した音声ファイルを削除する

❶メインメニューの［BROWSER］を選択して［ ▶II ］を押します。
❷「Recordings」→「VOICE」選択して［ ▶II ］を押します。
❸リストから削除したい録音ファイルを［ ⊕ / ⊖ ］で選択して［ ▶II ］を長押しします。
❹確認のメッセージが表示されたら「はい」を選択し［ ▶II ］を押します。

録音したファイルをパソコンに保存して、ファイル名を変更して管理できます（→ P.19）

BROWSER（ブラウザ）

T7 に保存されたすべてのファイルを直接選択して表示・実行できます。

ファイルを表示・再生する

ボタン操作 メインメニュー [BROWSER] → [▶II]

❶メインメニュー［BROWSER］を選択して［ ▶II ］を押します。
❷［ I◀ / ▶I ］ボタンでフォルダを移動して表示･再生するファイルを選択し、［ ▶II ］を押します。
＊ T7 で表示･再生できない形式のファイルも、BROWSER 内ではファイル名を見ることが可能です。

保存したファイルを削除する

ボタン操作 メインメニュー [BROWSER] → [▶II]

T7 に保存されたファイルは下記の方法で削除することができます。
❶メインメニュー［BROWSER］を選択して［ ▶II ］を押します。
❷［ I◀ / ▶I ］で削除したいファイルが保存されているフォルダ（もしくはファイル）を［ ⊕ / ⊖ ］で選択し、［ ▶II ］を長押しします。
❸確認のメッセージが表示されたら、［ I◀ / ▶I ］でボタンで「Yes」を選択し［ ▶II ］を押します。

設定する

T7 の各種機能を用途に合わせて設定できます。

現在時刻設定 ボタン操作 メインメニュー [SETTINGS] → [現在時刻設定]

現在の日付と時刻を設定します。

画面 ボタン操作 メインメニュー [SETTINGS] → [画面設定]

＊バックライト

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的にバックライトを消灯します。[5 秒 /10 秒 /1 分 /5 分 /30 分]

＊明るさ

画面の明るさを設定します。[低（暗い）/ 中（標準）/ 高（明るい）]

省エネモード ボタン操作 メインメニュー [SETTINGS] → [タイマー設定]

＊自動電源オフ

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにします。
[オフ /30 秒 /1 分 /3 分 /5 分 /10 分]

＊スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにします。
[オフ /10 分 /30 分 /1 時間 /2 時間 /5 時間]

拡張設定 ボタン操作 メインメニュー [SETTINGS] → [拡張設定]

＊言語

メニュー表示などに使用する言語を設定します。（38 ヶ国語）

＊転送方式

T7 とパソコンを接続したときの接続方法を選択します。転送方式を切り替えるとデータが初期化され削除されます。お気をつけください。

MSC（UMS）	Windows 2000、XP、Vista のパソコンに接続した場合にリムーバブルディスクとして認識します。
MTP	Windows XP または Vista のパソコンに接続した場合に Windows ポータブルデバイスとして認識します。XP または Vista 専用となります。

＊フォーマットデバイス（初期化）

T7 に保存されているすべてのデータが消去されます。必要なとき以外は実行しないでください。

初期化が完了するまで T7 の電源を切らないでください。

＊システム情報

T7 のファームウェア情報、空き容量を表示します。

＊設定の初期化

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。この操作を行っても、保存された音楽ファイルなどのデータは削除されません。

ファームウェアアップグレード

ファームウェアとは？

ファームウェアとは、T7 を動かすための基本ソフトウェアです。iriver 社では、T7 に新機能を追加したり、使いやすさを向上させるため、ファームウェアアップグレードを提供します。

バージョンの確認

お使いの T7 のファームウェアのバージョンは、［SETTINGS］メニューの［拡張設定］→［システム情報］で確認することができます。

アップグレードの方法

❶パソコンと T7 を接続します。

❷iriver plus3 を起動してポップアップウィンドウでファームウェア更新のお知らせが表示されたら、画面の指示に従いながらアップグレードをします。

＊ファームウェアのアップグレード中には、T7 をパソコンから取り外さないでください。

＊ファームウェアのアップグレードには、インターネット接続環境が必要です。

iriver plus 3 のインストール

iriver plus 3 を使って、パソコンを使った音楽ライフが幅広く楽しめます。

CD から録音した音楽ファイルをアイリバーのプレーヤーに転送できます。また、プレイリストを作って音楽ファイルを管理することでオリジナルのアルバムを楽しむことができます。

■ iriver plus 3 のマニュアルをダウンロードする

http://www.iriver.co.jp/support/download/manual/

■ iriver plus 3 をインストールする

パソコンの CD-ROM ドライブに付属のインストール CD を挿入すると、自動的にインストール画面が現れます。

画面にしたがって、インストールを実行してください。

＊ iriver plus 3 は「Administrator」（管理者）権限をもつユーザーでログオンして、インストールを行ってください。

＊ スロットインタイプや、トレータイプであっても 8cm に非対応の CD-ROM ドライブでは使用しないでください。収録されているアプリケーションは、iriver の Web サイトからユーザー登録後、ダウンロードが可能です。

音楽ファイルを準備する [iriver plus 3]

iriver plus3 のライブラリに楽曲を登録する

■オーディオ CD から音楽ファイルを作成する

オーディオ CD のファイルを iriver plus 3 のライブラリへ録音します。CD から録音した音楽ファイルはパソコンのハードディスクへ保存されますので、CD を取り出した後でも音楽を再生することが可能になります。

＊ CD を再生中は [CD から録音] をできません。「再生を停止しますか？」というメッセージが出たら「はい」をクリックしてください。

❶オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

❷画面左下の「CD 録音」をクリックした後、「リスト表示」をクリックします。



❸曲情報を取得します。

CD トラックの楽曲情報が自動で表示されない場合は、画面右下の「CD 情報検索」ボタンをクリックし、CD の情報を取得します。インターネットの CD データベースから音楽情報を検索して取得できます。

＊この機能を使用するには、お使いのパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

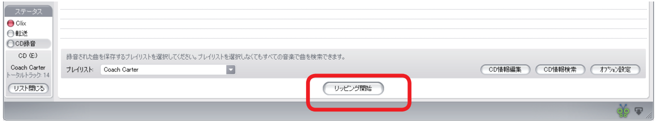
＊音楽 CD によっては、CD の情報が取得できない場合もあります。

❹録音したい曲を選びます。

録音したい曲にチェックマークを入れます。



❺「リッピング開始」ボタンをクリックします。



＊録音中はそれぞれのトラックに録音経過状態が表示されます。

＊録音を中止するときは「リッピング中止」ボタンをクリックします。

❻チェックを入れた楽曲のステータスが「終了」になったのを確認して、「リストを閉じる」ボタンをクリックします。



- 録音された音楽はライブラリの「すべての音楽」に追加されます。
- 録音された音楽はパソコンの［マイドキュメント］―［マイミュージック］フォルダに保存されオーディオ CD なしでも音楽を再生できます。（パソコンの OS が Windows Vista の場合は［ドキュメント］―［ミュージック］フォルダ）

音楽ファイルをライブラリに追加する [iriver plus 3]

■ライブラリの音楽ファイルについて

iriver plus 3 のライブラリリストには、オーディオ CD から取り込んだ音楽、インターネットからダウンロードした音楽、パソコンにすでに保存されている音楽を追加できます。

音楽ファイルをライブラリに追加すると、iriver plus 3 で再生したり、特定の曲だけを集めたプレイリストを作成して簡単に便利に音楽ファイルの管理や編集ができます。

■パソコンのハードディスクとライブラリリスト

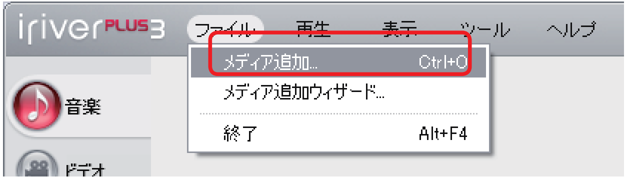
ライブラリリストに音楽ファイルを追加すると、iriver plus 3 で活用できるデータベースとして登録されたことを意味し、音楽ファイル自体が iriver plus 3 内に保存されるわけではありません。音楽ファイル自体はパソコンのハードディスク内に保存された状態のままです。

ハードディスク内でファイルを移動、削除、ファイル名の変更をした場合、iriver plus 3 はこれらのファイルの検出、転送ができなくなります。そのため、もう一度ライブラリリストに追加することが必要になります。

＊ 検出されなかったファイルは⚠マークが表示されます。

パソコンに保存されている音楽ファイルをリストに追加する

❶「ファイル」－「メディア追加」を選択します。

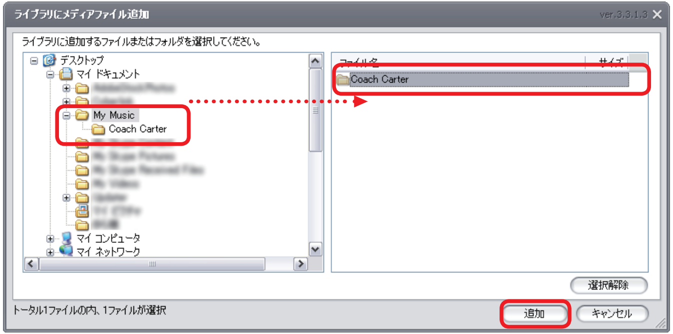


❷保存先から追加したいファイルやフォルダを選びます。

①ウィンドウの左側から「My Music」に保存された音楽ファイルのフォルダを選択します。

②選択したフォルダは右側のウィンドウに表示されます。追加したいファイルやフォルダを選び、「追加」ボタンをクリックします。

＊ 複数のファイルやフォルダを選択したい場合はキーボードの「Ctrl」を押しながらフォルダをクリックします。



音楽ファイルをプレーヤーへ転送する [iriver plus 3]

メディアウィンドウのライブラリリストにある音楽ファイルをプレーヤーに転送します。

＊プレーヤーの空き容量が不足していると、転送が中断されます。ご注意ください。

❶ プレーヤーとパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

❷ リストから転送したいファイルを選択します。

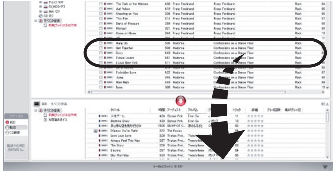
複数のファイルやフォルダを選択するときは［Ctrl］キーや［Shift］キーを押しながらファイルを選択していきます。

❸ 選択したファイルをプレーヤー側のウィンドウにドラッグ & ドロップします。

＊転送ボタンを押しても転送が可能です。

＊ Shift キー：連続した複数の項目を一気に選択するときは、Shift キーを押しながら最初と最後の項を選択します。

＊ Ctrl キー：連続しない複数の項目を選択するときは、Ctrl キーを押しながら一つずつ選択します。



・転送の状況はステータスバーに表示されます。
・転送が完了したら、音楽ファイルは プレーヤー側のウィンドウに表示されます。
・511 文字（パス名とファイル名を合わせた半角英数字）を超えるファイルは転送できません

プレーヤーの音楽ファイル・プレイリストを削除する

❶右クリックで「削除」を選択する

選んだファイル（またはプレイリスト）上で右クリックをし、[削除］を選択します。



❷確認画面が表示たら、「はい」をクリックする

Windows Media Player の利用

T7 の接続タイプを「MTP」にして、Windows Media Player 11 から T7 に楽曲を転送することができます。[SETTINGS] → [拡張設定] → [転送方式] → [MTP] (→ P.37)

Windows Media Player のライブラリに楽曲を登録する

■オーディオ CD から音楽ファイルを作成する

準備 Windows Media Player の「音楽の取り込み」の設定を行ってください。

❶「ツール」—「オプション」を選択します。
❷「音楽の取り込み」タブをクリックします。
❸オーディオ CD から録音するときに作成される音楽ファイルの設定をします。

WMA ファイル	「Windows Media オーディオ」を選択します。「音質」スライダは 128kbps に設定します。(Windows Media オーディオ可逆圧縮には非対応)
MP3 ファイル	「形式」リストボックスは「mp3」を選択します。「音質」スライダは 128kbps に設定します。

❹「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外してください。
❺「OK」ボタンをクリックします。

■オーディオ CD を録音する

❶オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
❷「取り込み」タブをクリックします。
❸録音したい曲を選び、チェックマークを入れます。
❹画面右下の「取り込みの開始」ボタンをクリックします。

＊録音された音楽は［マイコンピュータ］—［マイドキュメント］—［マイミュージック］フォルダに保存されます。

音楽ファイルをプレーヤーに転送する [Windows Media Player11]

Windows Media Player を使用して転送する

音楽の転送方法は「自動同期」「手動転送」の二通りの方法があります。

準備 初めてプレーヤーを接続する場合、プレーヤーの記憶容量とライブラリのサイズに応じて、プレーヤーに最適な同期方法 (自動または手動) を選択します。

■手動同期

プレーヤーの記憶容量が 4GB 未満の場合やライブラリ全体がプレーヤーに収まらない場合、Windows Media Player は手動同期を選択します。手動同期では、プレーヤー上のファイルに変更を

加えるたびに同期させるファイルまたは再生リストを選択し、プレーヤーから手動でファイルを削除します。

■自動同期

プレーヤーの記憶容量が 4GB より大きく、ライブラリ全体がプレーヤーに収まる場合、自動的にライブラリ全体を同期します。その後、プレーヤーをコンピュータに接続するたびに、Windows Media Player はプレーヤーを更新し同じライブラリを作成します。同期する再生リストを選択して、何を自動的に同期するかを選択することもできます。

■自動同期を選んだ場合

自動同期を選択すると、Windows Media Player はライブラリに追加されている音楽ファイルを自動的に T7 に転送します。

■手動転送を選んだ場合

❶ Windows Media Player の「ライブラリ」タブをクリックします。
❷「すべての音楽」を選択します。
❸リストウィンドウに表示されたファイルを選択し、右側の「同期リスト」にドラッグ＆ドロップします。
❹画面右下の 「同期の開始」ボタンをクリックします。



故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
電源がオンにならない	バッテリが不足している	USB ケーブルでパソコンと接続し、充電してください。
	T7 がシステムエラー状態	本体上部のリセットボタンを細い形状のもの（ピンなど）で押してください。
音が聞こえない	音量が 0 になっている	本体上面のボリュームボタンを押して、正しい音量に変更してください。
ボタンが操作できない	ホールドスイッチがロック状態になっている	ホールドスイッチのロックを解除してください。
音楽ファイルの再生中に雑音がする	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも同じ雑音が出るか確認してください。特定のファイルだけで雑音が出る場合は、CD から作成し直す、バックアップと入れ替えるなどの対策を試してください。
ファイルの転送に失敗する	USB ケーブルの接続不良	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
画面に文字が表示されない。もしくは正しく文字が表示されない	言語設定が正しくない	[設定]-[拡張設定]-[言語] で、お使いの言語を選択してください。

状況	原因	解決方法
FM 放送の受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが外れている、接触不良	イヤホンがしっかり接続されているか確認してください。 ※イヤホンコードは、ラジオのアンテナの役割をします。イヤホンがプレーヤーに接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
	イヤホンコードの向きが悪い	プレーヤーとイヤホンの位置を調整してください。
	周囲で雑音が発生している	周辺にある電気製品の電源をオフにしてみてください。
WMA ファイルが再生できない	WMA ファイルに著作権保護がかけられている	ライセンス情報を T7 に正しく転送してください。 ライセンス情報は Windows Media Player で確認できます。
電源をオンにすると、エラー画面が表示される	T7 内部のデータが破損した	iriver plus3 で T7 を初期化してください。ただし、初期化すると T7 に保存されているすべてのデータ（音楽、画像、テキスト等）が消去されます。
iTunes で録音した音楽ファイルが再生できない		iTunes の標準設定で作成された形式の音楽ファイル（AAC）の再生には対応いたしておりません。 iTunes メニューの［編集］—［SETTINGS］—［詳細］タブ—［インポート］タブ—［インポート方法］を［MP3 エンコーダ］に変更して、再度オーディオ CD からインポート（録音）を行ってください。

状況	原因	解決方法
音楽配信サイトで購入した楽曲が再生できない	サポートしてないファイル形式	音楽配信サービスで購入した楽曲をアイリバーのプレーヤーで再生するには、ファイル形式が「WMA 形式」であることが条件となります。 Yahoo! ミュージック、Mora、Sony Music Online (bitmusic)、iTunes Music Store などの配信サイトから購入された楽曲の再生には対応いたしておりません。 また、WMA 形式であってもすべてのデータの対応は保証いたしかねます。
音声が録音できない	空き容量が不足している	不要なファイルを削除してください。
	バッテリが不足している	充電してください。
パソコンに接続しても認識しない	Windows XP Service Pack 1 iriver plus3 がインストールされていない	Windows XP の Service Pack と iriver plus3 のバージョン確認をしてください。 Service Pack1 以降、iriver plus3 のバージョンは 10.00.00.3802 以降がインストールされていなければ、それぞれインストールしてください。それでも認識しない場合は Microsoft のサイトから修正パッチ「KB902344」 と Windows Media Format 9.5 ランタイム（修正パッチ「KB891122」のページに記載されています）をダウンロードし、インストールしてください。

製品仕様

モデル NO.		T7 1GB	T7 2GB	T7 4GB
分類	項目	仕様		
オーディオ	周波数特性	20Hz ～ 20KHz		
	ヘッドホン出力	(L) 15mW + (R) 15mW（16 Ω最大ボリューム時）		
	S/N 比	90 dB（MP3）		
FM チューナー	周波数	76.0MHz ～ 108MHz		
	録音時間 (録音品質：低)	約 33 時間	約 66 時間	約 132 時間
音楽再生	対応ファイル形式	MPEG1/2/2.5Layer3, WMA, OGG		
	対応ビットレート	MP3/WMA ※1 : 8kbps - 320kbps、OGG : Q1 - Q10		
	収録可能時間	約 18 時間	約 36 時間	約 72 時間
	ID3 タグ情報	非対応		
	S/N 比	90dB（MP3）		
録音時間	内蔵マイク (録音品質：低)	約 33時間	約 66時間	約 132時間
電源	バッテリ	内蔵リチウムポリマー充電池、USB 充電		
	充電時間	約 3 時間		
連続再生時間	音楽	約 11 時間 (128Kbps、MP3、ボリューム 20、EQ Normal、画面オフの場合)		
寸　法 (WxHxD)		約 84.0 X 26.0 X 11.0 mm		
質量	電池除く	約 26g		
本体ディスプレイ		Mono Blue OLED (64x128 ピクセル)		

＊メモリの一部をシステム領域として使用しているため、搭載しているメモリすべてを記憶領域として利用できるわけではありません。

※ 1　可逆圧縮 WMA には非対応

製品サポート総合案内／カスタマーサポート

製品サポート総合案内 http://www.iriver.co.jp

iriver の Web サイトの「製品サポート総合案内」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

カスタマーサポート

1. 製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本書の「故障かなと思ったら（→ P.54）」、iriver の Web サイト（http://www.iriver.co.jp）の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。お客様がプレーヤーに録音したファイルの損失ならびに障害につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。修理や点検に出す際には必ずバックアップをお願いいたします。修理や点検のためにプレーヤーが初期化される場合があります。

3. 付属品・オプション（別売）をお求めの場合

本取扱説明書に記載の付属品やオプション（別売）のご購入を希望される方は、アイリバー・ジャパン サポートセンターの通販窓口または e ストアまでお問い合わせください。

アイリバー・ジャパン サポートセンター	0570-002-220
受付時間：**月〜金**（祝祭日・年末年始を除く）**10:00〜18:00** ホームページ　http://www.iriver.co.jp	E-mailでのお問い合わせは ホームページのメールフォームを ご利用ください

著作権、認可、登録商標、免責事項

著作権

iriver 社は、本書に関するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver 社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられることがあります。知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、および動画は著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベントは実際に存在するものではありません。iriver 社は、本書を利用して、本製品を特定の会社、組織、製品、個人、およびイベントに結び付けようとは考えておりません。また、本書の内容から何らかの別の意味を導き出そうとも考えておりません。お客様には、著作権や知的所有権を遵守していただく必要があります。

認証

本製品は以下の認証規格を取得しています。CE、FCC、MIC

登録商標

· Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows Media Player は、Microsoft Corp. の登録商標です。

· SRS(●) は、SRS Labs, Inc. の登録商標です。

免責事項

お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたために人身事故や他の損害、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、および販売店は、このような損害に対して責任を負いかねます。

本書の情報は現行の製品仕様に合わせて作成したものです。

製造者である iriver 社は、本製品に新機能を追加しており、今後も引き続き新技術を適用して参ります。予告なく、仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

T7200809-001

T7　2008.06